



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 株式会社リブセンス 上場取引所 東
 コード番号 6054 URL <https://www.livesense.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中里 基 TEL 03-6275-3330
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	3,160	△10.2	121	172.4	183	105.7	126	94.3
2018年12月期第2四半期	3,520	13.2	44	△79.4	89	△70.1	64	△68.6

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 112百万円 (642.1%) 2018年12月期第2四半期 15百万円 (△92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	4.48	4.46
2018年12月期第2四半期	2.31	2.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	4,572	3,819	83.3
2018年12月期	4,322	3,707	85.2

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 3,807百万円 2018年12月期 3,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	△4.3	150	22.6	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	28,140,800株	2018年12月期	28,140,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	320株	2018年12月期	320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	28,140,480株	2018年12月期2Q	28,135,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料は、本決算短信と同時に開示しております。

また、当会社ウェブサイトにも掲載いたします。（URL <https://www.livesense.co.jp/ir/>）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、求人情報メディアを始めとする複数のインターネットメディアを運営しております。

当第2四半期連結累計期間は、当期のテーマである「競争優位の確立」に向け、サービスの本質的価値向上に向けたメディア改善、将来の成長のための基盤構築に取り組んでまいりました。

2018年12月期において株式会社waja（以下、「waja社」）の株式の一部を譲渡し連結の範囲より除外したこと、口コミ付き転職サービス「転職会議」では事業方針の転換により一部の新規営業を停止したこと等により、連結売上高は前年同期を下回ったものの、上述の新規営業の停止により営業費用が減少したことなどから、連結営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,160,534千円（前年同期比10.2%減）、営業利益は121,824千円（前年同期比172.4%増）、経常利益は183,579千円（前年同期比105.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は126,047千円（前年同期比94.3%増）となりました。

各事業の経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において「イーコマース事業」を構成しておりましたwaja社の株式の一部を2018年9月30日に譲渡し、連結の範囲より除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より当該報告セグメントを廃止しております。

a. 求人情報メディア事業

求人情報メディア事業におきましては、成功報酬型ビジネスモデルを活用したアルバイト求人サイト「マッハバイト」、口コミ付き転職サービス「転職会議」、正社員転職サイト「転職ナビ」、新卒就活サービス「就活会議」、競争入札型転職サービス「転職ドラフト」等を分類しております。

「転職会議」においては、営業による短期的な事業拡大の方針を転換し、メディアの価値向上による中期的・持続的な拡大に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間は、新規営業の停止等により減収となった一方、サイトのUI/UX向上、企業情報の拡充等の施策が進捗いたしました。「マッハバイト」は、広告出稿の拡大等により増収となった一方、「転職ナビ」は、広告出稿の調整に伴う新規登録会員数及び応募数の減少等により、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は2,642,172千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は585,509千円（前年同期比4.1%増）となりました。

各サイトの売上高は、次のとおりであります。

・マッハバイト：	1,193,172千円	（前年同期比	7.6%増）
・転職会議：	507,067千円	（前年同期比	18.0%減）
・転職ナビ：	608,964千円	（前年同期比	19.0%減）
・その他（就活会議、転職ドラフト等）：	332,968千円	（前年同期比	37.3%増）

b. 不動産情報メディア事業

不動産情報メディア事業におきましては、成功報酬型ビジネスモデルを活用した賃貸情報サイト「DOOR賃貸」、不動産情報サービス「IESHIL（イエシル）」（以下、「イエシル」）等を分類しております。

当第2四半期連結累計期間は、「DOOR賃貸」においては広告の積極投下による集客が伸びました。「イエシル」においては、保育園情報の掲載、価格査定エンジンのバージョンアップによる査定精度の向上等、サイト価値向上に向けた取り組みが進捗いたしました。

この結果、売上高は512,160千円（前年同期比23.5%増）、セグメント利益は127,478千円（前年同期比40.5%増）となりました。

c. その他事業

その他事業におきましては、テスト運用中のサービスを含む複数の新規事業及び検索エンジン対策を中心としたWebマーケティングに関する助言業務による収入等を分類しております。

前連結会計年度において、株式会社ユニラボとのBtoBのサービス比較・発注情報サイト「アイミツ」の共同運営を終了いたしました。また、新たな成長の柱の確立及びその過程を通じた組織・人材の強化を目的として、新規事業の立ち上げに取り組んでおります。

この結果、売上高は6,202千円、セグメント損失は17,372千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,572,828千円となり、前連結会計年度末に比べ250,148千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加207,644千円及び売掛金の増加68,889千円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、752,841千円となり、前連結会計年度末に比べ137,835千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加110,920千円及び未払法人税等の増加68,833千円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,819,987千円となり、前連結会計年度末に比べ112,313千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加126,047千円及び非支配株主持分の減少11,518千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

a. 事業環境及び事業戦略

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、インターネット関連技術の進歩等に伴い需要拡大が続くものと想定しております。

こうした事業環境の下、当社グループでは、コーポレートビジョン「あたりまえを、発明しよう。」の実現に向け、新たな「あたりまえ」の創出を支える競争優位の確立を目指してまいります。当期においては、当社のコーポレートロゴでもある「発想×徹底」に基づき、サービスの本質的価値の磨き込み、収益力の向上といった中長期の成長に資する施策に取り組んでおります。

事業面におきましては、「転職会議」を始めとする各メディアの価値向上に継続して取り組むとともに、将来の成長事業投資に向けた実態収益力の向上および新規事業開発を進めてまいります。また、独自のデータ分析基盤「LIVESENSE Analyticis」、機械学習基盤「LIVESENSE Brain」といった技術的資産、京都オフィスの活用等による人的投資を継続して行ってまいります。

b. 連結業績見通し

上記事業環境及び事業戦略等を踏まえ、当連結会計年度は売上高6,500百万円、営業利益150百万円を見込んでおります。連結売上高見通しは前年同期を下回っておりますが、これは「転職会議」の成長シナリオの一部変更に加え、2018年12月期第3四半期末をもってwaja社が当社の連結範囲から除外された影響等によるものです。

なお、違約金収入等の営業外損益については当期も継続して発生が見込まれるものの、変動が大きく合理的な金額の算定が困難なため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は開示を控えさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,235,481	3,443,126
売掛金	588,999	657,889
その他	100,312	72,025
貸倒引当金	△466	△517
流動資産合計	3,924,327	4,172,522
固定資産		
有形固定資産	81,460	85,334
無形固定資産	22,254	17,059
投資その他の資産		
その他	296,622	300,375
貸倒引当金	△1,985	△2,462
投資その他の資産合計	294,636	297,912
固定資産合計	398,352	400,306
資産合計	4,322,680	4,572,828
負債の部		
流動負債		
未払金	313,064	423,985
未払法人税等	15,325	84,159
賞与引当金	56,899	55,221
その他	226,984	186,742
流動負債合計	612,274	750,109
固定負債		
資産除去債務	2,732	2,732
固定負債合計	2,732	2,732
負債合計	615,006	752,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,292	235,292
資本剰余金	223,742	223,742
利益剰余金	3,224,168	3,350,216
自己株式	△856	△856
株主資本合計	3,682,347	3,808,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	△1,223
その他の包括利益累計額合計	564	△1,223
新株予約権	8,525	8,098
非支配株主持分	16,236	4,717
純資産合計	3,707,673	3,819,987
負債純資産合計	4,322,680	4,572,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,520,119	3,160,534
売上原価	346,375	247,809
売上総利益	3,173,743	2,912,725
販売費及び一般管理費	3,129,015	2,790,900
営業利益	44,727	121,824
営業外収益		
受取利息	14	14
クーポン失効益	11,611	—
補助金収入	5,038	446
違約金収入	27,465	62,137
その他	2,727	5,455
営業外収益合計	46,857	68,054
営業外費用		
為替差損	184	43
投資事業組合運用損	2,172	6,255
営業外費用合計	2,356	6,298
経常利益	89,228	183,579
税金等調整前四半期純利益	89,228	183,579
法人税、住民税及び事業税	63,610	70,719
法人税等調整額	9,083	△1,668
法人税等合計	72,693	69,050
四半期純利益	16,534	114,528
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,335	△11,518
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,870	126,047

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	16,534	114,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,343	△1,788
その他の包括利益合計	△1,343	△1,788
四半期包括利益	15,191	112,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,527	124,259
非支配株主に係る四半期包括利益	△48,335	△11,518

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。